

## 市長懇談会（11月15日実施）

### 課長

只今より美住リサイクルショップ運営委員会の方々と市長との懇談会を始めさせていただきます。市長の挨拶から始めさせていただきます。

### 市長

懇談会ということでお忙しいところ、市役所においでいただきましてありがとうございます。日ごろより、美住リサイクルショップ運営委員会の委員の皆様には、美住リサイクルショップの運営はもとより、市民の皆様のゴミ減量やリサイクル意識の啓発等、当市の資源循環型社会形成に向けて市民の立場から取り組んでくださり、この場を借りて厚く感謝申し上げます。また、ゴミ講座等で広く地球環境を考えるような講演等を開いてくださりありがとうございました。

今回のごみ講座については、全部お聞きすることができませんでしたが、プラスチックごみのゆくえについて大変勉強になりました。今後につきましても、ゴミ減量の推進、地球環境にやさしいまちづくりについては、永遠の課題となりますので、運営委員の皆様と協力しあい成果が上がるようにしていきたいと思っております。

最後に、先日の市民産業まつりは参加していただき、市民の皆様にごみ減量の啓発をしてくださりありがとうございました。

### 課長

ありがとうございます。1、2分程度で委員の皆様の自己紹介をお願いします。

### 【各委員挨拶】

### 委員

本日の懇談会のテーマは「ごみのゆくえ」ですが、市長のお考えをお願いします。

### 市長

事前に課長よりテーマについて聞いていましたが、焼却炉の関係はまだ進め方についても白紙の状態です。平成22年、23年度で延命化工事を行い、耐震化工事も行いました。ですが、そろそろ今後どうするのか、検討会等で議論を進めていく意識が皆様のなかにあるかと思えます。

しかし、その前にリサイクルセンターの竣工にあたり収集形態の見直しを含めて、考えていかなければならない時期にあります。現在、びん、かんはコンテナ収集を行っていき、コンテナを3泊4日置く地域もございます。路上に置くびん、かんのコンテナが危

ないのご指摘を市民の方から受けておりまして、コンテナまで持っていくことが難しい方もいらっしゃると思います。リサイクルセンターの整備に合わせて、コンテナ回収を継続していくのか、集積所収集か、戸別収集かも含めて検討する時期にあります。所管としては収集業者とのコスト面も含めて検討している段階ですが、いずれにしましてもコンテナを数日路上に置く実態を改善していきたいと考えています。

ペットボトルにつきましては恩多町にある施設に直接持ち込む方式となるため、ペットボトルの収集方法についても検討することも必要です。このようなことから、リサイクルセンターの運営面について万全を尽くしたいと考えています。

焼却炉の問題については秋水園ありきではなく、秋津町周辺の方々のご理解を得るためにも、広域処理もひとつの選択肢に含め検討、勉強するに値すると考えています。ただ、市内でごみを処理するということだと、秋水園にごみを持ち込むことがよいのか、既存の市有地の用途利用も含め、市内でまとまった面積の土地を購入することは難しいことなど、様々な側面から議論が必要なことから、今後は市民参加方式で枠組みを作っていきたいと考えています。

ごみは市民生活に結びついていまして、適正な処理をすることが必要です。技術革新が進んでいますが燃やさない、埋め立てないという98プランの実現は難しいと思われまます。どんなにごみの減量がすすんでいても焼却処理が必要だと考えます。

現在、皆様にお伝えできるのはこの程度になります。

#### **委員**

ありがとうございます。質問はありますか。

#### **委員**

市長がおっしゃいましたが、びん、かんのコンテナを数日間に渡って置く状況が現実にあるのですか。

#### **課長**

コンテナは前日に設置し、翌日回収が基本です。しかし、栄町は金曜日にコンテナを設置し、月曜日に回収することになっています。

#### **委員**

他市ではBOXによる収集をしているところもあると聞きますが。

#### **部長**

今の話はコンテナBOXという大型のBOXのことだと思いますが、10年ほど前にBOX収集による小学生の事故がありまして、それからBOX回収をする自治体が少なくな

りました。

#### **委員**

今はコンテナでの収集が長年続いているので定着してきたとも思うのですが。生ごみなどが戸別収集になり非効率だとも思いました。今はそれも定着してきましたが、それに似た方式も考えられるということでしょうか。

#### **市長**

コンテナによる収集については改善してほしいとの声があります。その一方で、指定収集袋をはじめたときに可燃などは戸別収集をはじめましたが、びん、かんの集積所を設けるのも難しいところがあります。場所によっては大量に出るところもあるので、集積所から道路にはみ出ることが問題となってしまいます。いずれにしても戸別で収集する方法、コンテナを設置する方法、古紙と同じように集積所収集をする方法等で最善な方法を検討していかないといけないと考えています。

#### **委員**

審議会でも意見を出ささせていただきましたが、戸別収集にすると集積所収集などと比べて排出しやすくなるので店頭回収や集団資源回収の収集量が減り、行政回収の収集量が増えてコストの増加になってしまうのではないのでしょうか。審議会では、収集形態の検討は報告と意見を発言するだけで諮問はありませんでした。

#### **部長**

市の基本計画について諮問するのが、審議会の役割です。収集形態の検討はそれにあたらないので審議会の諮問対象にはなりません。

#### **市長**

ごみの問題は市民の皆様の問題ですので、われわれとしても意見を伺う必要はあると思います。おそらく収集形態の変更の検討となるとパブコメや説明会を開くことになっていくと思います。高齢化が進むなかで集積所まで持っていくことが困難で戸別収集を望む声もあります。また、便利になり集団資源回収は回収量が減ることも考えられますが、コスト面なども含めてトータルで考えていきたいと思います。店頭回収の拡大については課長の方でお願いに行っていると聞いています。しかし、会社の方針でなかなか拡大することは難しいところです。行政回収量を減らしていきたいという思いはありますが。

#### **委員**

生ごみとびん、かんの回収を同じ日にすることはできないのでしょうか。

## 部長

生ごみ等の可燃ごみとびん、かんの収集車は別な車になります。収集日も別になるかもしれませんが同じ収集日になる可能性もあります。今後の検討次第です。

## 委員

紙パックなど拠点回収を行っているものがある。それをスーパーなどに広げることはできないのでしょうか。

## 課長

当市では店頭回収を推進していきまして、各店舗に訪問しBOXの設置をお願いしています。店頭回収はスペースと回収品の処理コストがかかってしまいます。回収BOXが大きいことや、回収量が見込めないとコストだけがかかってしまうので中小の店舗は難しい状況となっています。

## 部長

大きい店舗は間口が広くホールのような場所があるので回収BOXを置くことができます。店頭回収を実施するのが難しい中小の店舗の多くは間口が狭いです。ドラッグストアも入口にトレットペーパーなど商品が置いてあるので、回収BOXを設置できる場所がありません。ですが、家電量販店では今まで動きがありませんでしたが、アプローチの結果カートリッジや蛍光灯の回収BOXが増えてきています。

## 委員

夢ハウスだよりの取材をしていて大手は商品搬入の車にのせて店舗回収することができそうです。「いなげや」ではそうしていると聞きました。また、「いなげや」はマイバック運動を市から働きかけてくれたら検討するそうです。だいぶ有料でレジ袋を渡すお店が増えました。周りの店舗もやっているとやりやすいと話を伺いました。

## 委員

ごみを出すのは市民で、ごみを渡すのがスーパーになっている。店頭回収を行うこと、マイバックの働きかけは市長命令でとかで東村山市が率先して行っていくべきではないか。

## 委員

マイバックを配っている自治体もある。東村山市もマイバックを配るのがよいのでは。

## 市長

当市では商工会と協力して進めています。エコバックを持参するよう条例で定めること

は難しい。ごみ減量推進課で店頭回収やマイバックの働きがけを行ってはいます。しかし、個人商店ではサービスの一環で提供しているため、レジ袋を削減することは難しいのが現状のようです。

#### 委員

大手ですと資金があるので店頭回収ができるが、個人商店は環境を配慮して経営することは厳しい現状にあると理解しています。しかし、大手は有料だからレジ袋を買わず、本来に応援したい個人商店でレジ袋をもらっていることもあるのかと。市全体でのエコポイント制度などを作り、取り組むことも良いかと思えます。

#### 委員

私も以前、秋津商店街でレジ袋削減に取り組んだことがあります。「マツモトキヨシ」から言われたことは同じ商品が、ひばりが丘で買うと100円で、秋津で買うと102円となるということは避けたいとの意見がありました。取り組んでみて、商店街ではコストがかかって実際の効果はあまりなかった。取組みが新聞の多摩版に載りましたが、秋津商店街は利用者が埼玉県の人が多く、知らない人も多くいました。また、準備で店舗にこちらが説明に行ったとき了承してくれても実際にはやってくれないという店舗もありました。

#### 部長

レジ袋削減の取組みをNPOに委託したのが町田市です。レジ袋削減対策で客足が落ち、運動自体が1年持たなかったかと記憶しています。ですので、今は町田市がレジ袋削減を前面に出して取り組んでいなかったと思います。

#### 委員

それは取組みが時期尚早だったのでは。

#### 部長

3、4年前でレジ袋削減の取組みに盛り上がっている時期だったと思います。

#### 委員

難しいですね。

#### 委員

話は変わります。まちの美化についてです。近所でフェンスにポイ捨てをする人が多くて困っています。ある日、DMなどがあって住所がわかり、捨てているのはこの近所の住人であることがわかりました。東南アジアの国などではペナルティーを科すところがあり

ます。ポイ捨てを減らすために、何かできることがあるのではないのでしょうか。

#### **市長**

ご連絡いただければ所管として対応しています。また、よく不法投棄される場所については毎日、パトロールをして対応しています。しかし、あとを絶たないのが現状であります。都市環境部では、路上喫煙等防止マナーアップキャンペーンをやっております。先日、新秋津駅で行ったとき私も参加しました。駅前にはポイ捨てがありませんでしたが、線路沿いの植え込みにごみがたくさんあることを知りました。

#### **委員**

元を断たないと、ポイ捨ては減ることはないかと。商品の販売方法でデポジット制を取り入れることで、ポイ捨てが減ると思います。東村山市だけでデポジットをやっても意味がないので、国の方が元を断つような対策を打ち出すべきだと思います。使い捨て容器があるから捨てられる。後始末をするのは市民で儲かるお店は逃げてしまったようにみえます。自治体が集まって国へ要望することも必要ではないのでしょうか。

#### **市長**

今は生産者、販売者の責任が不明確です。しかし、ごみを処理するのは自治体で市民の税金を使います。ごみを減量している人も全くしていない人も同じ税金の負担で対応するという不平等を感じるところです。

#### **委員**

私は古紙回収を行っている福祉団体に古紙を提供しています。市のなかで資源回収を行っている団体はどのくらいあるのでしょうか。また、資源回収をすると市から補助金がもらえるかと聞いていますが。

#### **課長**

市で集団資源回収を行っている団体が現在136団体あります。福祉団体のほかには自治会や地域の野球チームなども含まれています。市では集団資源回収で集めた古紙等に1kgあたり4円の補助金を出しています。補助金の用途は決められたものではなく、団体の運営資金に活用してもらっています。

#### **委員**

私は運営委員を12年務めて、市長より委嘱を受け嬉しく思います。ありがとうございます。東村山市の環境行政についてお話ししたいと思います。感じていることは政策とかが市民にわかりにくいということです。例えば1人当たりのごみ量の問題。何に書いている

のかわかりにくく昨年の実績は調べるとわかるが、今の目標はどこにも書いてありません。資源回収の話が出ましたが、ごみの資源化率も触れられているものではありません。ごみ講座のとき課長が「東村山市は6番でした。1番になりましょう」と言いました。こういうわかりやすいメッセージを市長からも出してほしい。他の市がやっていないからやりませんではなく、率先して東村山市からやってもらいたいのが環境問題だと思います。それにあてられるのがアメニティ基金です。基金が3億4千万円あるのですが後ろ向きに使われることが多い。ごみの資源化にあてられている委託費・運搬費で7千万、エコセメント化の負担金と2つに9割使われています。前向きな太陽光パネルの設置や住宅の省エネ化に使われているのが基金の3%程度です。アメニティ基金は廃棄物の再生資源化、資源循環形成に使うというのは後ろ向きな気がします。太陽光パネルの設置のためにもっとアメニティ基金を使うべきではないでしょうか。

#### **市長**

エコセメント化の事業に割り当てることは焼却灰の利用方法として、私は後ろ向きではなく前向きな使い方だと思っています。太陽光発電設備は公共施設に平成23年度から1か所ずつ導入しています。リサイクルセンターでも設置する予定です。予算としては他市と比較して基金の規模は小さいが、ここ数年間、力を入れています。アメ金は使い道が、資源循環部と都市環境部に分かれているので収入と支出の一体感がないところは否めません。環境行政は市全体で考えなければならないところがあり、市民の方からすると用途が見えづらい点があるかと思います。ごみ袋を買ったお金を財源として何を購入しているのかはっきりと出していきたいと思っています。

#### **委員**

市ではいろいろなパブコメをやっています。保育政策のパブコメの資料がほしいと公民館の窓口で聞いたところ、パブコメは終わりましたと言われました。公民館で資料を配付していたのなら、資料を保管して対応することができなかったのでしょうか。あと、武蔵野市のごみ対策課で紙芝居を作ったそうです。子ども向けのごみ減量の啓発には紙芝居をすることは丁度いいと思うので、ぜひ東村山市でも作りたいと思っています。

#### **市長**

公民館の対応は善処するよう所管に伝えます。

#### **委員**

では、時間になりましたので市長懇談会を終わります。